

NEW★STAR ドアクローザ 7000シリーズ(スタンダード型) 取付説明書

SINCE 1919

この度はニュースター ドアクローザをお買いあげ
いただきまことにありがとうございます。
ドアクローザを正しくお使いいただく為に、
取付・取扱説明書を十分にお読みになり、取付を
行って下さい。

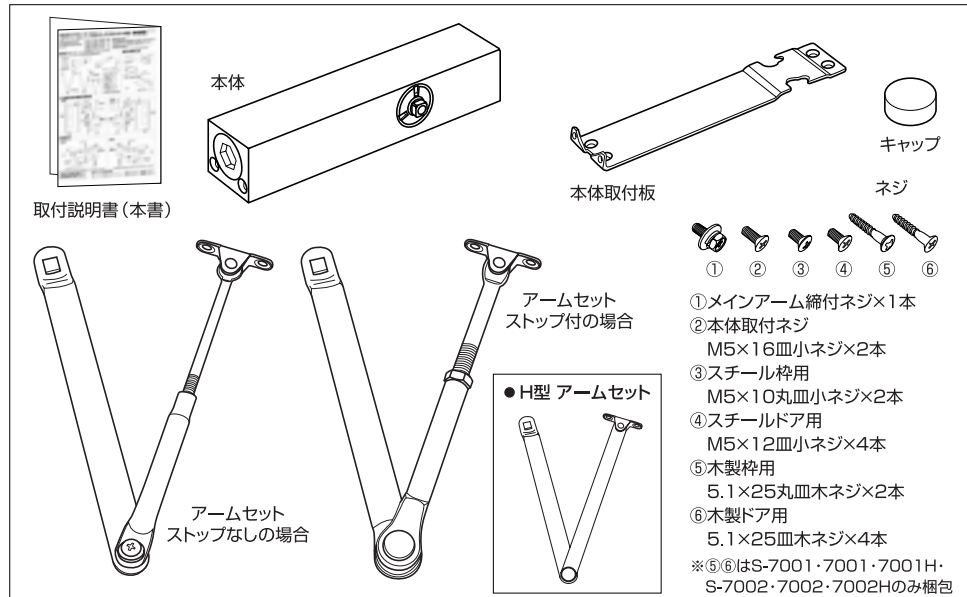
ストップ付	ストップなし		適用ドア寸法 DW×DHmm	ドア重量 kg以下
	7001	H型 7001H		
S-7001	7001	7001H	800×1800	30
S-7002	7002	7002H	900×2100	45
S-7003	7003	7003H	950×2100	65
S-7004	7004	7004H	1050×2400	85
S-7005	7005	7005H	1200×2400	120

本取付説明書はG1タイプ・BCタイプ・DAタイプ兼用です。

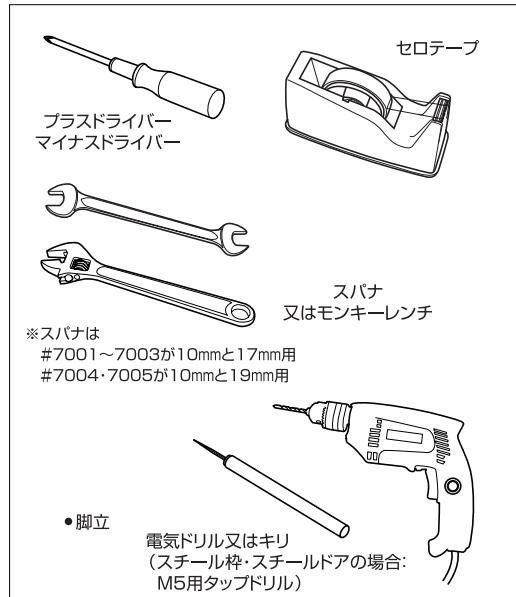
取付作業に入る前に

- 梱包物一覧を参照して箱の中身を確認して下さい。品番により部品の形状が異なります。万一、欠品などがございましたら、ご購入元にご連絡下さい。
- ドアを開ける力は、ドアクローザを取付ると、バネの力により重たく感じられます。(軽くすることは出来ません。)
- この商品は右開き・左開き兼用です。本体を上下転倒すれば変更出来ます。

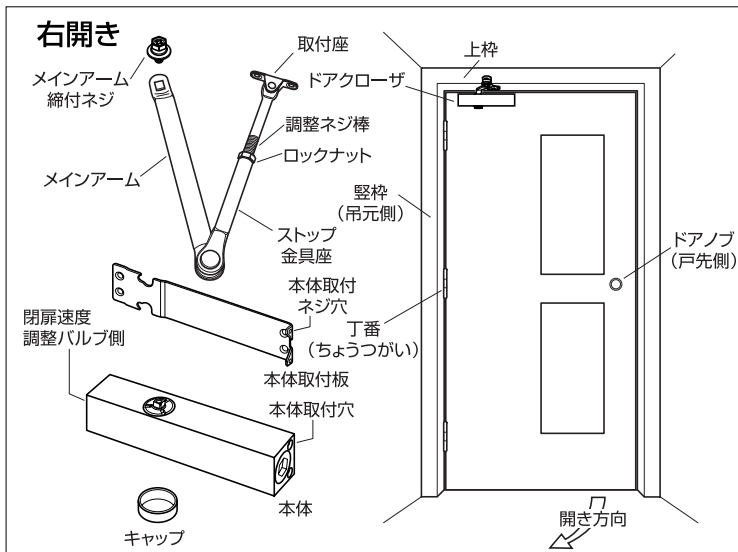
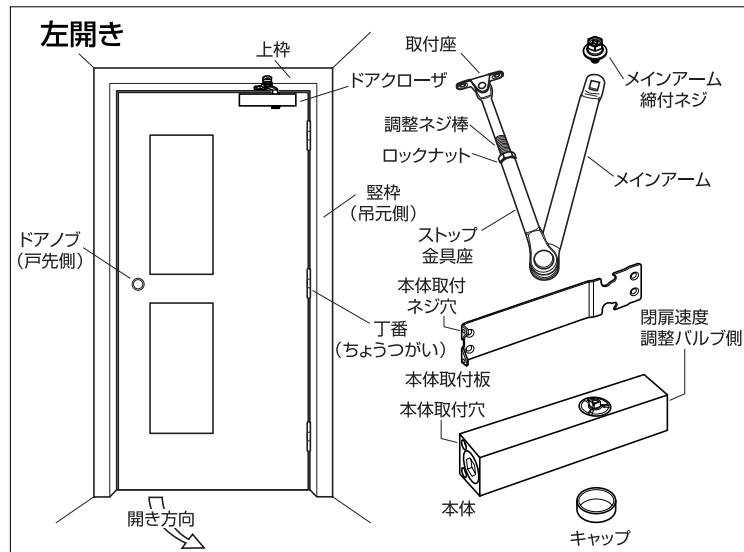
梱包物一覧 (品番により部品の形状が異なります。)



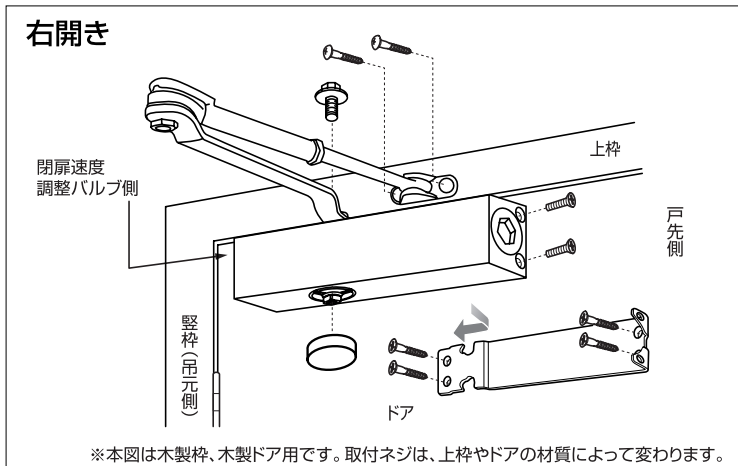
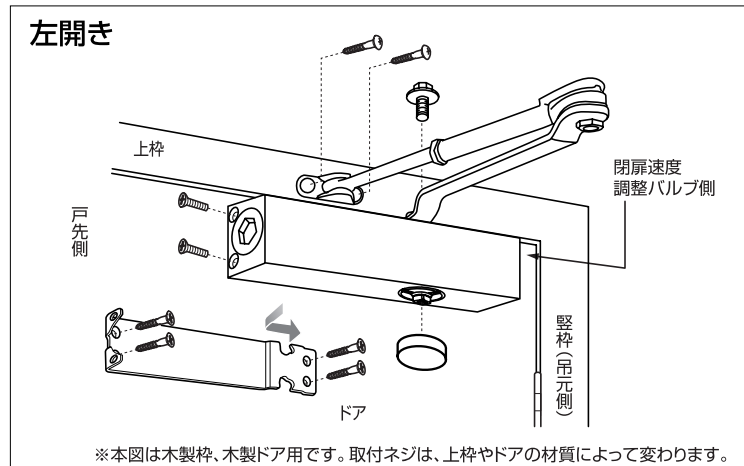
取付に必要な工具



ドアの開き方向の確認と各部名称



全体取付図



本書は必ず御施主様または
御入居者様へお渡しください。

日本ドアエック製造株式会社

東京本社 / 〒110-0012 東京都台東区竜泉一丁目27番9号 TEL(03)3871-1411(代)
(ニュースター東京ビル)
大阪本社 / 〒544-0014 大阪府生野区美東二丁目17番10号 TEL(06)6758-1251(代)

札幌支店 / TEL(011)851-8255～6
仙台営業所 / TEL(022)284-7501
北陸支店 / TEL(076)243-2120(代)
静岡営業所 / TEL(054)238-2751
名古屋支店 / TEL(052)981-7531～2
広島営業所 / TEL(082)877-1611～2
福岡支店 / TEL(092)271-5491(代)
高松営業所 / TEL(087)843-1212～3

ドアクローザ 7000シリーズ (スタンダード型)

取付順序

ドアを完全に閉じた状態で作業して下さい。

本図は右開きを示します。
左開きの場合は全体取付図を参照し、作業して下さい。

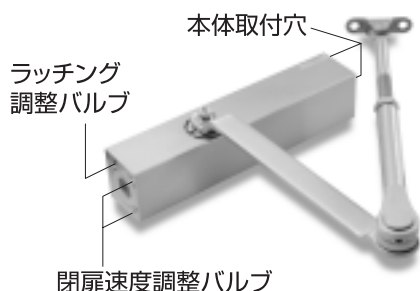
1 本体取付板取付位置を決める。



ドアの開き方向を確認し、取付型紙を使います。取付型紙の使用手順を参照し、作業を進めて下さい。取付型紙をセロテープで固定し、ネジ穴の位置に電気ドリル又はキリで目印を付けて下さい。取付型紙を外してから取付穴を開けて下さい。

【使用工具】電気ドリル又はキリ
(スチール枠・スチールドアの場合:M5用タップドリル)

2 本体にアームセットを取付ける。



メインアームをドアと直角になるようにしっかりと取付けて下さい。

【使用工具】プラスドライバー、
スパナ又はモンキーレンチ
【使用ネジ】①メインアーム締付ネジ×1本

3 本体取付板をドアに取付ける。



【使用工具】プラスドライバー
【使用ネジ】ドアがスチールの場合・・・④M5×12皿小ネジ×4本
ドアが木製の場合・・・・・・⑥5.1×25皿木ネジ×4本

注意 本体取付ネジ穴がドアノブ側に向くように取付けて下さい。

4 本体をドアに取付ける。



本体を本体取付板にはめ込み、吊元側へスライドさせて下さい。閉扉速度調整バルブ側が吊元側に向くように取付けて下さい。

【使用工具】プラスドライバー
【使用ネジ】②M5×16皿小ネジ×2本

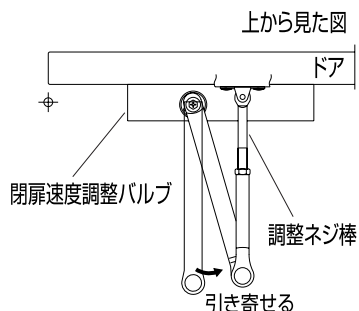
注意 本体は電気ドライバーで締付けないで下さい。

5 調整ネジ棒の長さを調整する。



ドア全閉の状態メインアームを戸先方向に回し、調整ネジ棒がドアと直角になるか確認して下さい。直角にならない場合は、調整ネジ棒のロックナットを少し緩めて、調整ネジ棒がドアと直角になるように回して長さを調整して下さい。

【使用工具】スパナ又はモンキーレンチ



注意 メインアームを回す時、アームが戻ろうとする力が加わるので、指を挟まないように注意して下さい。

6 上枠に取付座を取付ける。



【使用工具】プラスドライバー

【使用ネジ】

上枠がスチールの場合・・・③M5×12丸皿小ネジ×4本

上枠が木製の場合・・・⑤5.1×25丸皿木ネジ×4本

7 ロックナットを締付ける。

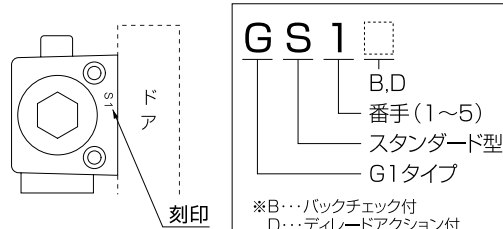


【使用工具】スパナ又はモンキーレンチ

8 キャップをはめる。

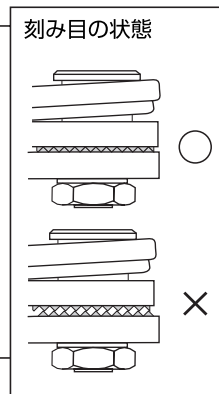
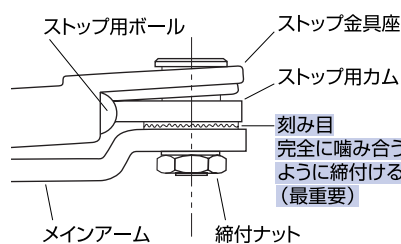
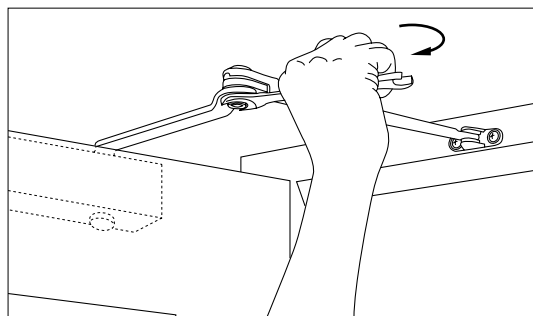


番手の見分け方



本体の刻印で番手を見分けることが出来ます。
刻印は本体取付穴側にあります。

9 ストップ角度の設定 ドアを70°から120°迄の好きな角度で止めることができます。



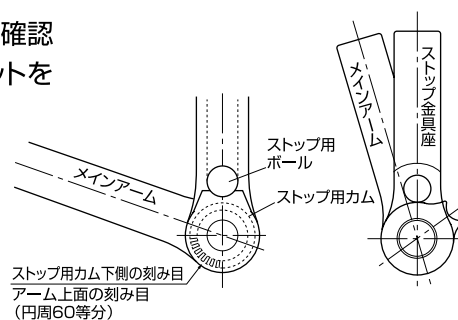
ストップ用ボールがストップ用カムにはまった状態で、ストップさせたい位置までドアを開き、締付ナットを締付けます。(出荷時、ストップ用ボールとストップ用カムははまった状態で、メインアームは回転する程度に設定してあります。メインアームとストップ金具座の連結部分は絶対に分離しないで下さい。)

メインアームとストップ用カムの刻み目を確実に噛み合わせて下さい。

(戻り代がありますので設定した角度から若干戻ります。)

再度調整する場合は、ストップ用ボールとストップ用カムがはまっているのを確認してから締付ナットを緩め、ストップさせたい位置までドアを開き、締付ナットを締付けます。

【使用工具】スパナ又はモンキーレンチ

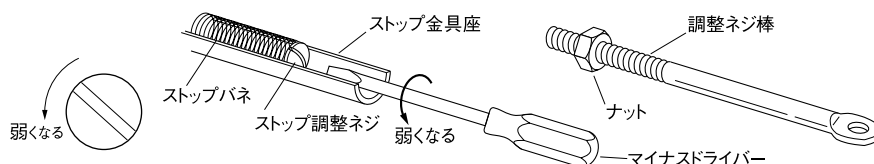


注意 ナットの締付、メインアームとカムの刻み目の噛み合わせが不十分な場合は、ストップ不良を起こし、部品の破損につながります。

10 ストップカの調整

ストップ保持力は最大に設定しています。

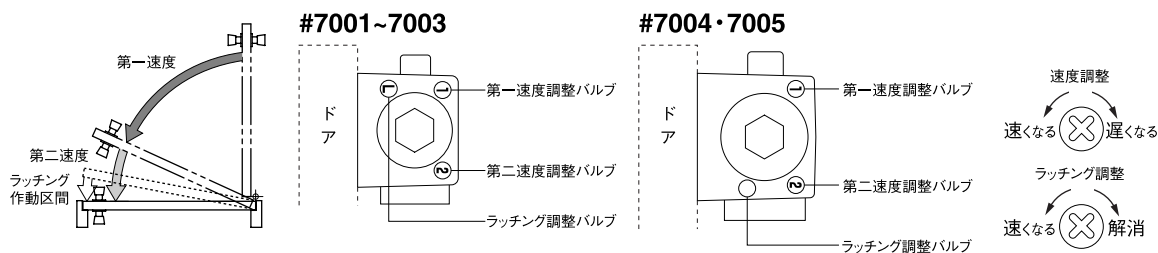
弱くしたい場合は、ナットを緩め、ストップ金具座から調整ネジ棒を外し、中にあるストップ調整ネジを左へ少しずつ回して調整して下さい。



11 調整方法

■ 閉扉速度

第一及び第二速度とラッチング調整が各々のバルブにて出来ます。第一及び第二速度の差を極端に大きくすると、故障の原因になります。(ドア幅が900mmの場合、90°から閉まる迄の適正閉鎖時間は5~8秒です。)

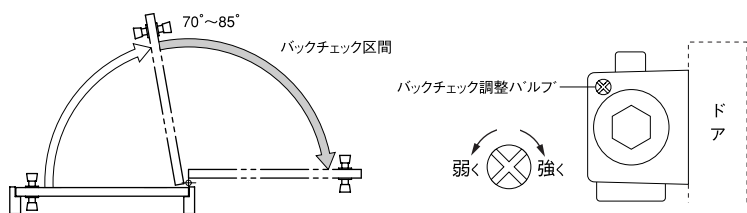


●ラッチング機能(標準装備)

閉まり際の閉扉速度が調整出来、ドアを確実に閉鎖します。
(エアタイト枠やラッチが固い場合に有効)

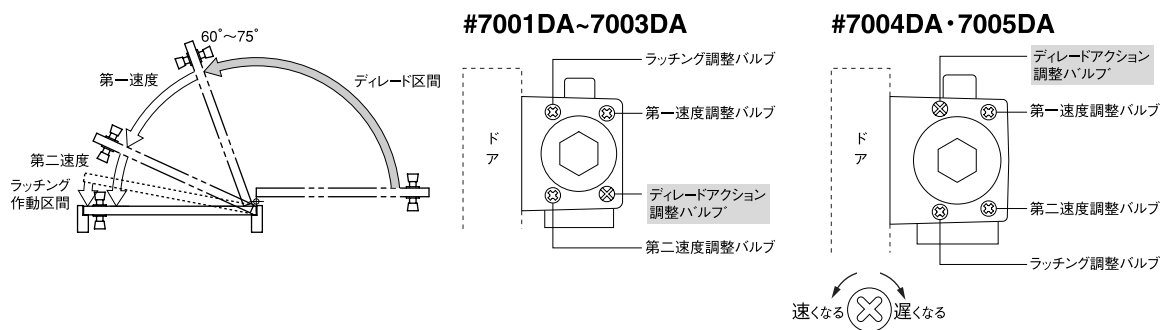
■バックチェック機能(オプション) G1タイプは標準装備

ドア開き方向に強風や外力が加わったとき、ドア開き角度70°~85°で油圧が働き急激にドアが開くことを制御する機能です。制御区間内は油圧が働き多少重くなりますが、ゆっくり開くことが出来ます。



■ディレードアクション機能(オプション) ※ディレードアクション付はバックチェック付

180°から75°~60°の間でゆっくり閉まる機能です。それ以降は通常で閉扉します。
作動区間内はドアを閉じる方向に、強く押したり引いたりしないで下さい。故障の原因になります。



【使用工具】 プラスドライバー

注意 調整をする場合、緩め過ぎると油が洩れるので、調整バルブを本体の表面より出さないで下さい。

以上で取付け完了です。

※1 H型の場合は **5** の作業は不要です。

※2 ストップなし(7001~7005・7001H~7005H)の場合は **7 9 10** の作業は不要です。